

歯周病の進行状態

健康な歯肉には、ステップリング（みかんの皮の表面の小さなくぼみのような状態）がみられます。



サンゴ色、またはピンク色でひきしまつて弾力性のある健康歯肉

歯のつけ根の表面に、プラークがたまり、歯の周囲や歯と歯の間の歯肉に炎症が起こります。ブラッシングした時や、固いものを食べると、出血することがあります。これくらいではまだ痛みもありません。（この段階を「歯肉炎」といいます）



歯肉炎

プラークが歯石（しせき）になり、歯石は大きくなって、歯根膜が溶け歯肉溝のなかにも広がってきます。歯肉溝はだんだん深くなり、歯肉の弾力性がなくなって、歯周ポケットと呼ばれる空間ができます。炎症も進み、歯槽骨の破壊も始まります。



歯周炎

症状が進むと歯周ポケットがさらに深くなり、歯槽骨がほとんど破壊され、歯がぐらつき歯の根も見えてきます。出血や口臭も強くなり常時ウミが出るようになります。その状態を一般に歯槽膿漏（しそうのうろう）といいます。



重度歯周炎

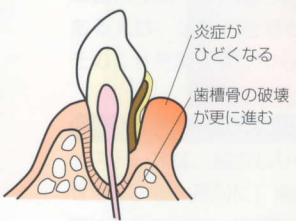
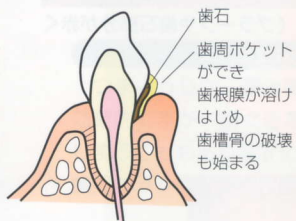
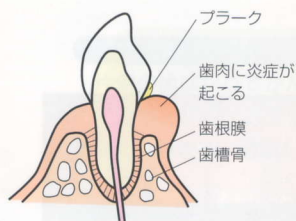


プラーク



歯石（染め出しにより赤くなった部分）

ねばねばした細菌の集まりがプラーク：歯垢（しこう）です。その細菌が少しずつ死滅して、それに唾液成分の無機質が沈着し、石灰化して歯石（しせき）になります。



歯周病は生活習慣病

歯周病は、今まで徐々に進行すると言われていました。最近では、急に悪くなる時期（勃発期）と静止期を繰り返しながら進行していくことがわかっています。そこで勃発期に感じる変化に十分注意し、早めに歯科医に相談し、治療を受けることが大切です。

歯周病の直接の原因は、プラークがたまることから始まり、プラークは、食べ物のなかの糖分と誰の口のなかにもある細菌によってでき、プラークの90%近くは細菌です。また歯周病が進行してできる歯周ポケットの内側には、1mg（湿重量）あたり400種、1億個以上の細菌がいて体との間で、免疫応答といわれる戦いが繰り返されます。抵抗力が弱まれば、全身にいろいろな症状があらわれてきます。

ですから歯周病を予防し、進行を防ぐには、まずプラークをためず、歯周病を進行させないことが大切です。また生活習慣を改めることも、大きなポイントになります。